

みかんHistory & experience



2年3組6班

みかんの歴史

みかんの歴史は非常に古く、起源は中国南部の温暖な地域にあります。中国では古代から栽培され、薬用や儀式にも用いられていました。日本には奈良時代に伝来し、江戸時代には紀州みかんなどが広まりまし、その後、温州みかんが誕生し、明治時代以降に栽培が拡大しました。

今有田に来ていくれている人々が少ないため少しでも足を運んでもらおう
→有田ならでのことを知ってもらおう…みかん歴史・体験

みかん栽培体験

みかん栽培体験とは、有田市や有田川町でみかん農家が受け入れている様々な体験プログラムを通じて、みかんの収穫や栽培作業を実際に体験できます。例えば、早和果樹園さんは大人一人2000円（小学生以下のお子様は入園無料）で、みかんが食べ放題。さらに、お土産として、皆さんで収穫したみかんをカゴに入れてお持ち帰りできます。（約2.5kg程度）またショップやカフェなども近くあります。

みかん栽培体験感想

- ・自然にもふれて時間を忘れてたのしめました。
 - ・ミカン狩りはお手頃な値段で、子供から大人まで楽しめるのがおすすめです。
 - ・有田みかんが酸味があつて甘くて美味しい。
 - ・山と川！段々畑！って感じ。
- などの沢山な感想が書かれていました。

少しでもみかんの歴史・体験について知ってもらえたかな？
是非有田に足を運んで見てください。

最後に一つみかんの豆知識！

みかんを食べると、実に多くの健康効果が期待できます。例えば、みかんに豊富に含まれるビタミンCには、粘膜を強化したり免疫力を高めたりする働きがあり、風邪の予防などに役立つ事ができます。



4班 班員

テーマ みかんとりワクワク大冒険！

現状

・有田を知らない人が多い。・有田みかんは全国でも有名

課題

・みかんのおいしさを知ってもらう。

疑問

・みかんとり体験は有田市のインスタで宣伝できるのか。

・みかんとり体験をできそうな農家はいるのか。

(伊藤農園、早和果樹園、栗山園、スガイ農園がみかん狩り体験をしている。)

プラス1できること

・参加してくれた人にオリジナルグッズをわたす。

プラス1に期待する変化

・有田市にくる観光客が増える。

・有田市が少しでも有名になる。

・みかんとりを楽しんでもらう。



5班

班員



テーマ「農業の人口アップ」を目指して！」

【テーマ決定の理由】

有田みかんや、有田でよくとれている果実などの特産物をこれからの有田にも残していきたいと思ったから。

【現状・課題】

- ・桃の栽培面積・収穫量の減少
- ・みかん・柿・桃などの果実が農業の七割を占めている
- ・有田みかんの生産量・・・年間約9200t
- ・一農家の年間出荷額(平均)は約599万円



【プラス1してほしいこと】

ありだの中学生の農業体験を行う

⇒人をただ増やすのではなく、**有田のいいところや伝統を農業やフルーツを通して** 次の世代へと受け継いでいってくれる人 が増えてほしいと思ったから。

【プラスワンの効果】

有田の伝統や盛んな農業を途絶えさせない！！！！

有田みかんの未来

班員：

テーマ：SNSで発信したり体験型のイベントをつくってみかん農家を増やそう！

＜テーマ決定の理由＞これからも有田みかんを食べれるか気になったから

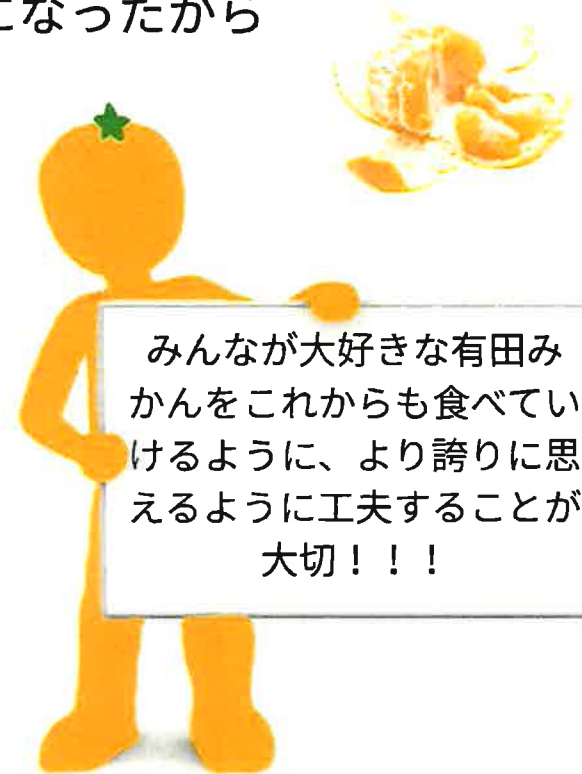
＜現状・課題＞高齢化と労働力不足、後継者不足に着目

なぜミカン農家を継ぐ人が減った？

収益性の低下、重労働、都市部への人口の流出が原因

プラス1 どうやって増やす？

- ・ SNSで発信、体験型の農業イベント（収穫の体験をして、ミカンジュースなどを作り、楽しんでもらう）を取り入れる
- ・ 自家製品化、ネットショップなどを利用して収益性を高める
- ・ ドローンやセンサー、スマホで可視化して省力化
- ・ 高校に農業科を設置し、地域ぐるみのおしをする



みんなが大好きな有田みかんをこれからも食べていけるように、より誇りに思えるように工夫することが大切！！



ミカン農家を増やそう *in Arida*



2年5組

ミカン農家が減少している原因

1. 農業従事者が高齢化で減少しているから。
2. 高齢化した農家が引退しても後を継ぐ若者がいないから。
3. ミカンの価格は年によって価格が変動が大きく安定した収入を得ることができないから
4. 若年層が都市部へ移住する傾向が続き、地元で農業を継ぐ人が減少しているから。

プラス① ミカン農家を増やすためのプロジェクト

小学生や中学生、高校生を対象に農業体験を実施する。

プロジェクトの内容

★苗植えから収穫までの過程をすべて体験できるように月に一回程度実施する。

4月	苗植え	肥料やり	10月	収穫開始	肥料やり
5月	摘蕾	肥料やり	11月	収穫	貯蔵
6月	摘果	肥料やり	12月	収穫	貯蔵
7月	摘果	病害虫防除	1月	貯蔵ミカンの選別	出荷
8月	摘果	病害虫防除	2月	剪定	肥料やり
9月	収穫準備	病害虫防除	3月	剪定	肥料やり 苗植え

★市外や県外からも呼びかけをする。

農業の就業者 人口

農家の就業者を増や す! 理由

1班 班員

有田の強みや、野菜・果物の
生産量が落ちると思ったから

現状

農業者人数
1619人(2020年)

↓
730(2040年)
になると予想されている

課題

農業の就業者人口が減少していく
と特産品の栽培や他の野菜・果物
が取れなくなり市が**人手不足**にな
ること

解決策2つ

①農業者を派遣する

・県外から来た人

↓
5~10万

・県内から来た人

↓
3~8万

②派遣する人

みかん農業をしてもらう

有田市に来るまでの交通料金を少し負担
する

寮をつくりそこで生活してもらう。

有田プラス1プロジェクト

みかん

テーマ

若い人たちに継ぐみかん農業

テーマの説明

少子高齢化が進んでいてみかんが減ってきているのでみかんの育て方や取り方をわかり人に教えることでみかんの収穫量が増えると思ったから



現状

- ・少子高齢化が進むとみかんは少なくなる
- ・甘さと酸味のバランスが良い

課題

- ・高齢者による労働力不足
- ・少子高齢化が進んでいる
- ・温暖化による気象変動がある

プラス1

みかんの育て方を若い人に教えてみかんの生産量や収穫量を増やす

6班